

### 自然と命について学ぼう

## 岸良でウミガメ保護活動

岸良小学校では子どもたちが故郷の自然と命について学ぶことを目的にウミガメの保護活動を続けています。

6月20日には、同小で「うみがめ講演会」が開催され、児童のほか保護者や地域住民が参加しました。鹿児島大学水産学部の西隆一郎教授からウミガメの生態のほか採卵時に注意することなどの説明があり、参加者は多くの質問をしていました。

また、岸良小・中学校PTAは、毎年、岸良浜で保護のためのパトロール活動を行っています。今年も6月16日から開始し、25日夜に体長1メートル余りのアカウミガメが上陸したのを確認しました。このとき保護した約130個の卵は8月下旬頃に孵化する予定で、その後、子ガメの放流会を行うことになっています。



感動の瞬間を見守るパトロール隊



子どもたちから質問を受ける西教授（右）

## 内之浦、岸良小が 合同で宇宙兄弟教室

内之浦、岸良小学校合同の宇宙兄弟教室が6月17日、内之浦小で開かれました。子どもたちは種子島宇宙センター宇宙科学技術館の職員の指導を受けながらペットボトルロケットの製作・打ち上げや傘袋ロケット作りをしました。5・6年生を対象に本町と南種子町それぞれのロケット基地の特徴などについての解説もあり、子どもたちは積極的に質問していました。



ペットボトルロケット発射準備中の子どもたち

## 入場料はプルタブ 高山中合唱祭を開催

高山中学校合唱祭が7月2日、町文化センターで開催されました。保護者をはじめ地域の住民、民生委員、高山中同窓会、教育関係者など約500名が来場、生徒の歌声に耳を傾けました。また、同中学校でのボランティア活動の一環として入場料をペットボトルのキャップやプルタブとしており、来場した女性は「とてもよい事だと思いました」と話していました。



歌声を響かせる生徒たち